



西山形 コミスクだより



令和4年10月
西山形小学校
運営協議会
事務局
NO.1

前期の教育活動を振り返る

前期の教育活動を端的に総括すると「校内外の教育資源をフル活用して学習の質の向上を図ることができた。」とまとめられます。今年度より本格的に取り組んでいるカリキュラム・マネジメントを機能させ、教職員の意図的で計画的な教育活動を展開できるよう努めました。

カリキュラム・マネジメントとは…子供の実態を把握し、育てたい資質能力を様々な教科等の学習を通して、また指導内容や方法等の適切な評価改善を通して、更に校内外の教育資源の活用を通して、教育の質の向上を図ることです。

【成果】 学校運営基本方針に基づいて、豊かな体験活動に取り組むことができました。

方針1：五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。

方針3：西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。



一学年 生活科「草花遊び」6月23日 ※キラキラランドにある竹の笹を使って、笹舟を作りました。季節の変化を体で感じながら、身近な自然を利用して遊ぶ楽しさを、十分に味わうことができました。



二学年 生活科「地区探検」5月26日と6月1日・「地区探検お寺訪問」10月7日 ※地域に三回探検に出かけました。教科書には載っていない地域の良さに気付くことができ、西山形地区への愛着がさらに高まりました。



三・四学年 環境学習「富神川きれいさ調べ」6月20日 ※県環境科学研究センターの方を講師に環境保全に関する授業を行いました。前半川の汚れについて学習し、後半キラキラランドの用水路の水生物等を観察しました。

校外外の教育資源をフル活用するために、とかみ学習支援コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の鬼島悦雄先生に、地域の「人」「物」「イベント」等を紹介していただいたり、繋いでいただいたりしました。教員は、コミュニティ・スクールのメリットを活用し、地域連携コーディネーターや研究主任を中心としてカリキュラム・マネジメントの研究に取り組みながら、学習の質の向上に努めることができました。また、授業の準備の負担を軽減することができました。

方針2：「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。



五学年 総合「西山形地区をきれいにしよう」7月13日 ※昨年度から学習している地域のごみ問題を今年度も継続して考えています。地域の方にプレゼンをする機会があり今後も、ごみ問題に取り組んでいきます。



六学年 社会「最上義光」9月29日・「ピースネット平和教育」10月7日 ※外部講師による出前授業で、最上義光について学習しました。また、オンラインで長崎県の方から被爆体験を話していただき平和について考えました。

本校の育成すべき資質・能力の一つである「表現力」の向上のために、生活科や総合的な学習の時間を充実させています。国語で学習した発表の仕方を総合的な学習の時間でのプレゼンテーションで生かしたり、逆に、総合的な学習の時間で必要になったポスターの作成ポイントを国語で学習したりと、教科等を横断した学習が展開できています。その際、タブレットを活用して、県外の方と交流をしたり児童同士でデータを共有して話し合いを行ったりしています。今後も、ICTを活用しながら児童個々の思いや願いを実現できるよう努めてまいります。

方針5：教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。

子供たちが、新校舎への円滑な移転と現校舎との思い出に残るお別れを迎えられるように、当初予定していた学習発表会の開催期日を変更し、現校舎とのお別れの会と学習発表会を兼ねた開催としました。教職員で話し合いを重ね、共通理解のもと教育課程の変更を行うことができました。

【課題】

方針4：今後隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。

学校のホームページの更新を定期的に変更しました。保護者や地域の皆様に日々の学習活動を発信し情報交流の場となるようにしています。ホームページの閲覧回数も増えており、今後一層の充実を図っていきます。一方で、新校舎における、コミュニティセンターや学童クラブ等と隣接するメリットを生かした、学校だけに閉じない広がりや深まりのある学習の在り方については、今後の具体的な取組の実施に向けて、さらに検討していく予定です。